

広報 な か わ だ 2022年 10月



第503号

中和田カトリック教会 広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel (045)803-6141

2022年10月2日

<https://nakawada-catholic.com>



アッシジの聖フランシスコの祭日に向けて

フランシスコ・ザベリオ 日野武満神父

†主の平和

2018年までは毎年待降節と四旬節に聖地巡礼に信徒の方々を引率して行われていた巡礼が、新型コロナ・ウイルス感染症で中止になってしまいました。更に2022年春にロシア・ウクライナ戦争が始まり、(成田～ローマ)直行便がロシア上空を飛行出来なくなりました。旅行の予定プログラムを作るのが楽しみだったのですが。

この春、教会の再建と改装が行われた時、巡礼写真、巡礼日記、巡礼本が沢山出てきました。二十数年前、インド(ニューデリー)経由から二日、やがてカナダ・アンカレッジ経由、さらに成田～ローマ直行12時間と便利になりました。聖ヨハネ・パウロⅡ世・ベネディクト10世・フランシスコ教皇と晴天時はヴァチカン広場、雨天、寒波時はパウロ6世会館で謁見しました。

10月4日、アッシジの聖フランシスコの祭日に世界の平和と自然環境維持のために祈りましょう。

教会ごよみ(10・11月)

	日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
10 月	1	土			入門講座(14:00)
	2	日	主日ミサ(9:00)	年間第27主日	<u>全地区(担当第3地区)</u>
	8	土			教会委員会(10:00)
	9	日	主日ミサ(9:00)	年間第28主日 <u>(式次第練習日)</u>	<u>全地区(担当第1地区)</u>
	16	日	主日ミサ(9:00)	年間第29主日	<u>全地区(担当第2地区)</u>
	22	土			入門講座(14:00)
	23	日	主日ミサ(9:00)	年間第30主日 <u>(式次第練習日)</u>	<u>全地区(担当第3地区)</u>
	30	日	主日ミサ(9:00)	年間第31主日	<u>全地区(担当第1地区)</u>
11 月	5	土			入門講座(14:00)
	6	日	主日ミサ(9:00)	年間第32主日 <u>(式次第練習日)</u>	<u>全地区(担当第2地区)</u>
	12	土			教会委員会(10:00)
	13	日	主日ミサ(9:00)	年間第33主日 <u>(式次第練習日)</u>	<u>全地区(担当第3地区)</u>
	19	土			入門講座(14:00)
	20	日	祭日ミサ(9:00)	王であるキリスト[祭] <u>(式次第練習日)</u>	<u>全地区(担当第1地区)</u>
	27	日	主日ミサ(9:00)	待降節第1主日	<u>全地区(担当第2地区)</u>

※日野神父様は10/17(月)～10/21(金)の間、軽井沢での黙想会参加の為ご不在になります。

※ロザリオ月間のお祈りは教会では行いませんので、ご自宅でお祈りください。

「敬老祝賀ミサ」が 行われました

9月18日、「敬老祝賀ミサ」が行われました。今年は新しくなった清々しい聖堂で、まだコロナ禍の影響もありますがミサ参加者数も増えてきた中で敬老祝賀ミサが行われました。

今年の敬老の祝いの該当者は5名の方で、そのうち4名の方が参加されました。ミサの後で参加された信徒の方々と記念写真を撮りました。皆様、これからも元気で教会の活動等にもご活躍ください。

今年の敬老祝賀の方をご紹介します。おめでとうございます！

ルチア 横塚 郁子様 ペトロ 岩淵 英介様
フランシスコ・ザベリオ 橋 幸雄様 クララ 武田 セツ子様
マリア・マグダレナ 島倉 文江様



<2022 年度バザーは中止します>

8月28日に有志による議論を行い、2022年度のバザーは実施しないこととなりました。やはりコロナの状態がまだ心配で無理はできないこと、三教会合同ミサ等も見送りになっている状況で、第五地区のどの教会もバザー実施の予定がないこと等から今年の秋はまだ難しいとの判断です。

これで3年間バザーを実施できないこととなります。しかしバザーは経済面のみならず、信徒の自発的な活動として教会の活力維持にも貢献してきたことや、近隣に開かれた教会という意味でも有意義なイベントであることから、今後様子を見ながら最適な時期に実施できるよう継続検討することとなりました。皆様の御協力を宜しくお願い致します。

＜第5地区共同宣教司牧「伝える部門」報告＞

参加者：マルコ神父 久我神父 シスター（1人） 戸塚（2人） 藤沢 原宿（2人）
大船（2人） 片瀬 中和田 計12名

8月28日、大船教会にて第5地区「伝える部門」の集まりが開催されました。昨年の10月から始まり今回で5回目になります。当初は会の進め方から話し合い、学びから考えるか、現場からかで議論し、学びから入る方針に決まりました。前回までに梅村昌弘司教様から出された「交わりとしての教会をめざして」を全員で読み合わせることが終わりました。

それで、「何を改革するのか？」が私たちのテーマとなります。具体的に久我神父様から「宣教という言葉から何を思い浮かべるか？」という問いかけから、意見を述べ合い、そもそも宣教の始まりとしては、パウロの「コリント人への手紙・第一」の1～25章にある福音をのべ伝えることにありと解説されました。信仰を伝えるとは、自分も社会も福音化することだということ、主が十字架について復活したことで永遠の命を得ることが、私たちの人生を喜びの人生に変えるのだということを表しているというお話でした。

（意見）

- ・宣教とはというと、宣教師を思いうかべるが、伝えるということよりも私の生き様から感じてもらえるかということ。
- ・生活そのものが宣教である。周りの人がどう思うか。
- ・宣教師が入信させるというイメージ。自分のことを語ることはしないことが多い。キリストの愛を伝える。知識ではなく、生き様。

次に、「横浜教区における改革の基本方針」の1. **意識改革の優先**を全員で読み合わせしました。久我神父様から、聖体拝領が、コムニオ・コムニオーヌムであること、改心と回心の違いについて解説されました。回心については神が判断するので、人間が判断する必要はないと話されました。

（意見）

- ・第5地区として具体的にどうするかが問題になる。
- ・本来、平等である筈だが教会内部が社会の縮図のようにになっている。力あるものが幅を利かせている。本当の平等になっていくとよい。
- ・小教区中心主義になってしまう。また、小教区の中でも教会に来られない人が多数いるのに行きたくても来られない人達への配慮を考えていきたい。
- ・地域を良くする活動に参加しているが、教会ではそれだけでなく神を意識したものが必要だと思う。そのためにも学びや分かち合いがあると良い。

（久我神父様）

- ・改革の基本方針の具体策としては色々あるが、神の思いを学んでいく。今日は意識変革についてやったが、組織・制度の改革よりも意識改革を優先する。それを妨げているものは何か。日々、社会で起きている事象もふまえて考えていく。

（武田幸子）

委員会だより (文中敬称略)

<9月教会委員会> (9月10日(土) 13名出席)

1. 日野神父様のお話

- ・残暑が続いています。今朝などは涼しかったですが、皆様健康に気を付けてお過ごしください。先日、イギリスのエリザベス女王が亡くなりました。在位70年で日本との関係も平和につくされました。

2. コロナ対応に関する指針・確認

- ・各地区ともに殆ど変更なし。

3. 教会運営に関する集中検討(継続検討審議項目)

- (1) 8月度委員会の議論の振り返り (資料参照)
- (2) 体制ブラッシュアップ (岩淵) (資料参照)
「グループ編成と運用の見直しについて」の説明があった。先回の提案をさらに見直した。5部門の名称の変更、組織表の追加・再編、3部門連絡会の設置、活性化された元気な教会にしていくための様々な方策が具体例を通して提案された。

(意見)

- ・一過性のイベントでもとにかく教会にきてもらうことを考えたい。若い人企画の集まり、初心者向けのスマホやLINE使用方法の講習会など若い人達に貢献してもらえる機会も考えられるのではないかな。
- ・今後は建設献金と一般献金を合わせて考えていく必要がある。コロナ禍でミサ献金は減っているがミサ謝礼は増えている。
- ・イベントを増やして、教会から離れている方々や若い人達にも来てもらえるよう考えたい。
- ・連絡網の連絡対象者を個人単位に変えていき、若い人達にも直接伝わるようにしたい。LINE等連絡手段を増やすことも検討する。そのためには連絡網の協力者を増やす必要がある。献金袋も昔うまくいかなかった経験もあるが、工夫して個人単位にできないかな。
- ・若い人のリーダーを連れてきて集める方法もある。
- ・若い人にも学生と社会人とがあり年齢層も広いので、層別に分けて考える。

- ・コロナが落ち着いたら昔の仲間の同窓会や、忘年会など色々な契機を作り、ともかくまず集まる機会を増やしたい。

(3) 結論

- 結論としては、次回も継続討議して、行動計画を立てる。

4. 2023年度予算編成

- (1) 各Gの予算要求の内容 (資料参照)
 - ・各Gから説明があった。
- (2) 教区への申請内容 (資料参照) ⇒最終決定は10月教会委員会にて)

5. 連絡・報告・審議事項など

(1) 財務(小野(和)・小野委員長)

- ・8月度の一般会計、建設会計、愛の献金の会計報告が行われた。
- ・建設会計の教区への返済金の次世代への負担を少なくする方法として、年度を短縮するのではなく、返済額を減らしたほうが良いのではないかな。

(2) 典礼(岩淵)

- ・新しい「ミサの式次第」についての練習日程・内容の資料が説明された。

(3) バザーの検討会(岩淵)

- ・8/28の検討会の結果として、今年のバザーは中止する。

(4) 消防訓練(五十嵐)

- ・9月18日に消防・避難訓練を実施する。
(資料参照)

(5) 庭の会の提案(滝川)(資料提案)

- ・庭の会の活動計画の提案があった。

<次回委員会 10月8日(土)> 以上

教会からのお知らせ

■ 帰天

ペトロ 望月 忠様

8月10日帰天されました。(享年 83)

パウロ 萩原 政弘様

9月2日帰天されました。(享年 89)

謹んで哀悼の意を表します。

(総務グループ)